

1	英語 V (d)	前期
【講 師】	李 世恩	
【日 時】	4月10日～・毎週木曜日 3時限目（12：50～14：20）	
【募集人数】	若干名	【受講料】 5,000 円
【講義内容】	中級 / 一般教養 英語リーディング（TOEIC）対策含む	
【テキストについて】		
使用テキストは、受講手続・説明会にてご案内いたします。		
【オンラインツールについて】		
講師とEメールでやりとりすることがあります。		
【選考方法】		
受講希望の理由書（200 文字程度）により決定		

2	中国語入門 B-a	前期 週 2 回
【講 師】	山田 俊	
【日 時】	4月10日～・毎週木・金曜日（週 2 回） 1 時限目（8：40～10：10）	
【募集人数】	5 名まで	【受講料】 10,000 円
【講義内容】	初級 中国語の発音記号（ピンイン）の学習から初めて、 初級中国語の文法の習得を目指す。	
【テキストについて】		
『極める中国語（改訂版）』（内田慶市・張軼欧、同学社 / 2,500 円 + 税） あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。		
【オンラインツールについて】		
講師とEメールでやりとりすることがあります。		
【選考方法】		
受講希望の理由書（200 文字程度）により決定		

3	中国語入門 B-b	前期 週 2 回
【講 師】	岡村 真寿美	
【日 時】	4月10日～・毎週木・金曜日（週 2 回） 1 時限目（8：40～10：10）	
【募集人数】	5 名程度	【受講料】 10,000 円
【講義内容】	初級 初めて中国語を学ぶ人向けで、発音・表記・文法の基礎を学びます。	
【テキストについて】		
『中国語への道【初級編】—近きより遠きへ—改訂新版』（内田慶市・奥村佳代子・塩山正純・張軼欧 [著]、金星堂 / 2,500 円 + 税） あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。		
【オンラインツールについて】		
Microsoft Teams を使用する場合があります。 講師とEメールでやりとりすることがあります。		
【選考方法】		
受講希望の理由書（100 文字程度）により決定		

4	中国語発展 I b	前期
【講 師】	岡村 真寿美	
【日 時】	4月11日～・毎週金曜日 2 時限目（10：20～11：50）	
【募集人数】	5 名程度	【受講料】 5,000 円
【講義内容】	準中級 中国語を 1 年程度学んだけれども、まだ十分身につけていないという人向け。 検定試験 4 級～3 級程度の内容。	
【テキストについて】		
『続・中国語でおもてなし』（おもてなし中国語教材開発研究チーム [著]、金星堂 / 2,300 円 + 税） あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。		
【オンラインツールについて】		
Microsoft Teams を使用する場合があります。 講師とEメールでやりとりすることがあります。		
【選考方法】		
受講希望の理由書（100 文字程度）により決定		

5 日本語史Ⅰ 前期

【講師】 米谷 隆史

【日時】 4月7日～・毎週月曜日
2時限目(10:20～11:50)

【募集人数】 若干名 【受講料】 5,000円

【講義内容】 専門

日本語の語彙の歴史を上代以降の文献資料から考えていきます。個々の語の意味や用法ではなく、その総体としての語彙の歴史とそれを記述するための方策や問題点を学ぶことを重視します。扱うテーマは次のようなものです。

- ①語種をめぐる諸問題 ②和語の語形と語構成
③文体と語彙 ④外国資料に見る日本語

【テキストについて】

『国語史を学ぶ人のために』(木田章義【編】、世界思想社/2,900円+税)

あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【受講条件】

日本語学と日本文学史の基礎を十分に理解していること

【選考方法】

受講希望の理由書(200字程度)により決定

6 日本語学概論Ⅰ 前期

【講師】 小川 晋史

【日時】 4月9日～・毎週水曜日
4時限目(14:30～16:00)

【募集人数】 若干名 【受講料】 5,000円

【講義内容】 専門

日本語学(言語学)という学問は、日本語(言語)をどのように取り扱うのか、そして日本語はどのような特徴のある言語なのか、それを理解する上での最初の一步となるような内容について説明する。

【テキストについて】

『図解 日本語』(沖森卓也ほか、三省堂/2,000円+税)
あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【選考方法】

受講希望の理由書(200字程度)により決定

7 方言学基礎論 前期

【講師】 小川 晋史

【日時】 4月10日～・毎週木曜日
3時限目(12:50～14:20)

【募集人数】 若干名 【受講料】 5,000円

【講義内容】 専門

日本の方言を中心テーマとして、毎回いろいろな方言にまつわるトピックを幅広く取り上げて説明します。対象となる方言は北海道から沖縄まで日本の全てが含まれます。受講者の皆さんが馴染みのある九州の方言については、折に触れて詳しく見ます。

【テキストについて】

『方言学入門』(木部暢子ほか、三省堂/1,800円+税)
あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【選考方法】

受講希望の理由書(200字程度)により決定

8 文献学基礎論 前期

【講師】 鈴木 元

【日時】 4月10日～・毎週木曜日
2時限目(10:20～11:50)

【募集人数】 若干名 【受講料】 5,000円

【講義内容】 専門

文学作品を含め、文字により記録された文献資料を、研究材料として扱うということはどういうことか、何に気を付けなければならないのか、そもそも、なぜ文献テキストそのものが問題として問われなければならないのか、我々が読んでいる作品本文は、本当に作者の意図を正しく伝えているのか、そんな話題を講義していきます。仮名文字のくずし字の読解練習を含みます。

【選考方法】

受講希望の理由書(100字程度)により決定

9 近代日本の歩み 前期

【講師】	大島 明秀
【日時】	4月9日～・毎週水曜日 3時限目（12：50～14：20）
【募集人数】	若干名
【受講料】	5,000 円
【講義内容】	中級 / 一般教養

日本がいわゆる江戸期の体制から脱却し、日本型オリエンタリズムを獲得しながら「脱亜入欧」を目指した近代（明治以降）の歩みの理解を目標とする一方で、現在の東アジアをめぐる問題の歴史的な根深さを捉え、解決へ取り組む手がかりを模索することも課題とする。

【選考方法】

受講希望の理由書（800字程度）により決定

10 地域文化研究Ⅰ 前期

【講師】	木崎 康弘
【日時】	4月10日～・毎週木曜日 5時限目（16：10～17：40）
【募集人数】	5名まで
【受講料】	5,000 円
【講義内容】	一般教養

肥後の考古学では、明治期～昭和初期、縄文時代の貝塚、古墳時代の装飾古墳、飛鳥時代の鞠智城が研究の中心となってきました。講義では、これらに関する研究について、考古学史として紹介します。その場合、全国的な視点からも加味させていただきます。

【オンラインツールについて】

講師とEメールでのやりとりをすることがあります。

【選考方法】

抽選により決定

11 建築環境工学Ⅰ 前期

【講師】	辻原 万規彦
【日時】	4月8日～・毎週火曜日 1時限目（8：40～10：10）
【募集人数】	若干名
【受講料】	5,000 円
【講義内容】	初級 / 専門

建築環境工学のうち、熱環境に関する基礎事項を平易に解説する予定です。知識だけにとどまらず、ものの見方や考え方も学べることを目指します。理解を深められるようにできるだけ毎回演習問題を出題する予定です。関数電卓が必要です。高校卒業程度の数学、物理の知識があることを前提とします。

【テキストについて】

『図説 やさしい建築環境（第4版第2刷 2024年3月発行）』（今村仁美・田中美都、学芸出版社 / 2,800円＋税）あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【オンラインツールについて】

講師とEメールでやりとりすることがあります。

【受講条件】

高校卒業程度の数学、物理の知識が前提です。

【選考方法】

受講希望の理由書（200字程度）により決定

12 住まいと地域環境 前期

【講師】	柴田、高橋、田中、李
【日時】	4月7日～・毎週月曜日 3時限目（12：50～14：20）
【募集人数】	若干名
【受講料】	5,000 円
【講義内容】	一般教養

現代における住まいと地域環境の基本的問題を正しく理解し、事例を紹介しながら、居住環境創造に役立つ要点を多面的に講義し、住まいと地域環境について考えます。

【選考方法】

受講希望の理由書（200字程度）により決定

13	農山村域計画学	前期
【講 師】	柴田 祐	
【日 時】	4月9日～・毎週水曜日 3時限目(12:50～14:20)	
【募集人数】	若干名	【受講料】 5,000 円
【講義内容】	一般教養	
農山漁村地域における伝統的な生産や暮らしの仕組みが有している環境共生や持続的な仕組みを深く理解するとともに、それらが社会や生活の変化の中で崩れて行った過程を学ぶ。あわせて、これからの時代のわが国の農山漁村地域や農林漁業の方向性について、国内や海外の事例を通して考える。		
【選考方法】		
受講希望の理由書(200字程度)により決定		

15	静定構造力学	前期
【講 師】	李 麗	
【日 時】	4月11日～・毎週金曜日 4時限目(14:30～16:00)	
【募集人数】	3名程度	【受講料】 5,000 円
【講義内容】	専門	
本科目では、建築構造力学の基本的事項を学ぶ。力(荷重)、反力、応力を理解し、静定構造物(静定梁・ラーメン構造・トラス構造)の反力、応力の求め方および応力図の描き方、断面諸係数、応力度の求め方を学習する。		
【オンラインツールについて】		
講師とEメールでのやりとりをすることがあります。		
【選考方法】		
受講希望の理由書(200字程度)により決定		

14	住空間計画学	前期
【講 師】	高橋 浩伸	
【日 時】	4月10日～・毎週木曜日 3時限目(12:50～14:20)	
【募集人数】	若干名	【受講料】 5,000 円
【講義内容】	初級/専門	
ここで学ぶ住空間計画学は、我が国における住空間の変遷を縄文・弥生期の古代より現代までを概観し、その上で現代に最も影響を与えているであろう、先の大戦後の1950年代～2010年代までの名作住宅を検証し、我が国における住空間の特徴・様相を把握する。そして、これらの知識を基に、住空間創造における理念や考え方、そして具体的なデザイン手法を学ぶ。		
【オンラインツールについて】		
講師とEメールでのやりとりをすることがあります。		
【選考方法】		
受講希望の理由書(200字程度)により決定		

16	食品分析学	前期
【講 師】	白土 英樹	
【日 時】	4月8日～・毎週火曜日 3時限目(12:50～14:20)	
【募集人数】	若干名	【受講料】 5,000 円
【講義内容】	上級/専門	
各種食品成分の分析において重要となる、試料調製法や一般成分分析法について解説します。さらに、ガスクロマトグラフィーなどの分離分析手法についても概説します。なお、本講義を受講するにあたっては食品を構成する化学成分(例えば炭水化物やタンパク質、脂質など)の基礎的な事項を理解していることを条件とします。		
【テキストについて】		
『食品分析学－機器分析から応用まで－改訂版』(松井利郎・松本清/共編 培風館/2,900円+税) あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。		
【オンラインツールについて】		
Microsoft Teamsを使用する場合があります。 講師とEメールでやりとりをすることがあります。		
【選考方法】		
受講希望の理由書(200字程度)により決定		

17 食資源開発学 前期

【講師】 松崎 弘美

【日時】 4月9日～・毎週水曜日
2時限目（10：20～11：50）

【募集人数】 5名まで 【受講料】 5,000円

【講義内容】 専門

食品は単に栄養素を供給するだけではなく、最近では保健機能（健康機能）が求められます。本講義では、健康を支える新しい食資源、健康を促進し保健機能を持つ新規機能性物質（特定保健用食品・機能性表示食品）、環境にやさしい農業生産のあり方、新しいバイオ技術（遺伝子組換え、細胞融合、ゲノム編集など）について紹介・説明・解説します。

【選考方法】

抽選により決定

18 社会倫理 前期

【講師】 江崎 一郎

【日時】 4月9日～・毎週水曜日
1時限目（8：40～10：10）

【募集人数】 10名程度 【受講料】 5,000円

【講義内容】 一般教養

テーマ「人生、いかに生きるべきか」

私たちは一体、何のために生きているのか。生きる目的は何なのか。人生の意義はどこにあるのか。私たちにとって、これ以上に重要なことはありません。すべては、ここから始まります。これなしには、人生を生き抜くことはできません。多くの人々が、最期を迎えるに際し、後悔します、あれをやるべきであったと、あるいは何のために生まれてきたのかと。私たちは、何をなすべきでしょうか。それは、自らの人生を正面から受け止めることから始まります。共に考えましょう。

【テキストについて】

『増補新装版・他者への自由—公共性の哲学としてのリベラリズム』（井上達夫、勁草書房 / 3,000円＋税）
あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【オンラインツールについて】

講師とEメールでやりとりすることがあります。

【選考方法】

受講希望の理由書（文字数は問わず）により決定

19 憲法Ⅰ 前期

【講師】 佐藤 雄一郎

【日時】 4月11日～・毎週金曜日
4時限目（14：30～16：00）

【募集人数】 10名程度 【受講料】 5,000円

【講義内容】 専門

日本国憲法が保障している基本的人権の内容について、判例を基にして、詳しく講義します。憲法の人権規定の意味・内容を確定させているのは、最高裁をはじめとする裁判所の判例ですので、判例の内容や裁判所の内在論理を知らなければ、憲法が保障している基本的人権の意味・内容を正確に理解することはできません。そこで本講義では、日本国憲法が保障している基本的人権について、判例を基に、その内容や問題点も含めて、詳しく説明していきます。

【選考方法】

受講希望の理由書（文字数は問わず）により決定

20 ヒューマンケア論 前期

【講師】 柴田 恵子

【日時】 4月10日～・毎週木曜日
4時限目（14：30～16：00）

【募集人数】 若干名 【受講料】 5,000円

【講義内容】 一般教養

ヒューマンケアは健康的に人生を生きていくためにも、その技を学習することは有用である。ヒューマンケアに関する知識の習得は健やかな人生へとつながる。援助とは双方向の関係において実施されるもので、援助の本質とは援助される人とする人の双方の“生きる”を支えるということを理解する必要がある。（反転授業での実施予定）

【テキストについて】

『ヒューマンケア入門 看護・介護・福祉を正しく理解するための基礎知識』（柴田恵子、幻冬舎 / 1,300円＋税）
あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【オンラインツールについて】

Microsoft Teams を使用します。
※ Microsoft Teams に掲載される講義資料の事前学習が必要となります。（申し出があれば、プリント配布にて対応可）
講師とEメールでのやりとりをすることがあります。

【選考方法】

受講希望の理由書（200字程度）により決定

21 現代の国際関係 前期

【講師】 高埜 健

【日時】 4月8日～・毎週火曜日
3時限目(12:50～14:20)

【募集人数】 若干名 【受講料】 5,000円

【講義内容】 初級/一般教養

日米関係を中心とした戦後の日本をめぐる国際関係、外交政策を時系列を追って詳細に説明していくつもりです。具体的には敗戦後日本の国際社会への復帰、安保改定、沖縄返還、日米経済摩擦とプラザ合意、アジア諸国との関係、日本の国際貢献、21世紀の国際関係と日本、等。

【オンラインツールについて】

講師とEメールでやりとりをすることがあります。

【選考方法】

受講希望の理由書(300字程度)により決定

22 国際関係論 前期

【講師】 高埜 健

【日時】 4月9日～・毎週水曜日
5時限目(16:10～17:40)

【募集人数】 若干名 【受講料】 5,000円

【講義内容】 上級/専門

日米関係を中心とした戦後の日本をめぐる国際関係と日本の外交政策を時系列を追って詳細に説明していきます。但し全ての資料は英語版を用い、授業も日本語と英語の両方を用いて行います。具体的なトピックは、敗戦後日本の国際社会への復帰と再軍備、日米安保改定、沖縄返還、日米経済摩擦とプラザ合意、アジア諸国との関係、日本の国際貢献等。

【オンラインツールについて】

講師とEメールでやりとりをすることがあります。

【選考方法】

受講希望の理由書(300字程度)により決定

23 公共経済学 前期

【講師】 井田 貴志

【日時】 4月10日～・毎週木曜日
3時限目(12:50～14:20)

【募集人数】 若干名 【受講料】 5,000円

【講義内容】 専門

公共経済学はその性格上、「ミクロ経済学」や「マクロ経済学」といった基礎理論を土台として成立しているので、本講義においてもこれらの基礎理論を前提として、公共経済学の適応範囲の広さを実感してもらえる内容にしていく予定である。

【テキストについて】

『私たちと公共経済』(寺井 公子・肥前 洋一【著】、有斐閣/2,000円+税)
あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【オンラインツールについて】

講師とEメールでやりとりをすることがあります。

【選考方法】

受講希望の理由書(300字程度)により決定

24 経営分析論 前期

【講師】 望月 信幸

【日時】 4月10日～・毎週木曜日
1時限目(8:40～10:10)

【募集人数】 若干名 【受講料】 5,000円

【講義内容】 専門

本講義では、財務諸表から企業の経営状態を把握する財務諸表分析を中心に講義する。具体的には、企業が作成する貸借対照表、損益計算書、キャッシュフロー計算書などを用いて、企業の経営状態を把握するための評価ツールとその利用方法について学習する。また、財務諸表だけではわからない企業の経営状況について、ファイブフォース分析やSWOT分析などを用いて学習する。

【選考方法】

受講希望の理由書(200字程度)により決定

25 ドイツ語発展 I・II 通年

【講師】 吉田 李佳

【日時】 4月11日～・毎週金曜日
2時限目 (10:20～11:50)

【募集人数】 若干名 【受講料】 10,000 円

【講義内容】 中級

初級ドイツ語を履修済の学生を対象に、ドイツ語の運用能力の向上を目指します。

【テキストについて】

『Spitzel2』(新倉真矢子ほか著、朝日出版社 /2,700 円 + 税)
あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【選考方法】

抽選により決定

26 韓国語入門A I・II-c 通年

【講師】 矢野 初美

【日時】 4月10日～・毎週木曜日
1時限目 (8:40～10:10)

【募集人数】 3名程度 【受講料】 10,000 円

【講義内容】 初級

初めて韓国語を学ぶ人を対象に、韓国語の文字と発音について講義します。次に簡単な短文が理解でき、また話せるように練習します。韓国語の言語としての特徴や韓国社会の反映としての韓国語という点に力をいれますので、挨拶等、実用的な会話を学びたい方には向きません。

【テキストについて】

『マル韓国語』(韓必南・全恵子、朝日出版社 /2,200 円 + 税)
あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【選考方法】

受講希望の理由書 (100 字程度) により決定

【注意事項】

講座番号: 27『韓国語入門 A I・II-b』と同じ講義内容となりますので、どちらか1講座をお申込みください。

27 韓国語入門A I・II-b 通年

【講師】 矢野 初美

【日時】 4月11日～・毎週金曜日
1時限目 (8:40～10:10)

【募集人数】 3名程度 【受講料】 10,000 円

【講義内容】 初級

初めて韓国語を学ぶ人を対象に、韓国語の文字と発音について講義します。次に簡単な短文が理解でき、また話せるように練習します。韓国語の言語としての特徴や韓国社会の反映としての韓国語という点に力をいれますので、挨拶等、実用的な会話を学びたい方には向きません。

【テキストについて】

『マル韓国語』(韓必南・全恵子、朝日出版社 /2,200 円 + 税)
あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【選考方法】

受講希望の理由書 (100 字程度) により決定

【注意事項】

講座番号: 26『韓国語入門 A I・II-c』と同じ講義内容となりますので、どちらか1講座をお申込みください。

28 日中比較文学 I・II 通年

【講師】 項 青

【日時】 4月11日～・毎週金曜日
2時限目 (10:20～11:50)

【募集人数】 若干名 【受講料】 10,000 円

【講義内容】 専門

中国・日本・朝鮮半島・東南アジア諸国などアジア漢字圏の天人女房の話を紹介しつつ、世界各地の羽衣伝説も取り上げます。中国儒教の影響を受け、親孝行の思想を取り入れた東アジアの伝説と、インド仏教の影響を受け、鳥が女性に変身する東南アジアの伝説の異同を考察します。古文や漢文を読むことが多いため、ある程度の漢文の知識及び日本古典の知識が必要です。

【オンラインツールについて】

講師と E メールでやりとりすることがあります。

【選考方法】

受講希望の理由書 (300 文字程度) により決定